

2026年7月7日

第8回横浜港脱炭素化推進臨海部事業所協議会 紹介資料

横浜市・東亜合成 ごみ焼却熱有効利用実証試験 事業概要のご紹介

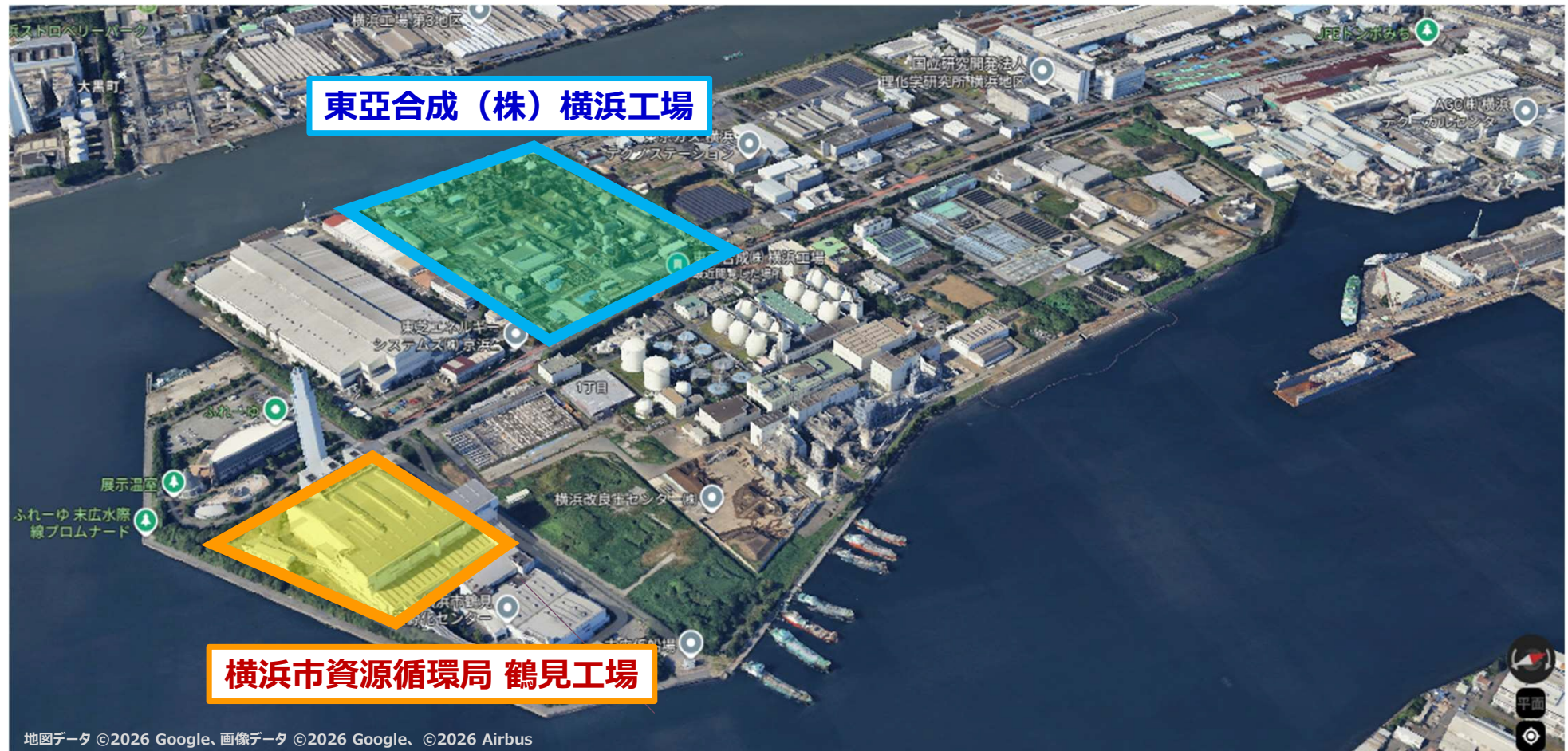
東亜合成株式会社
横浜工場 大西 努

事業計画の概要

事業名称 : 横浜市・東亜合成 ごみ焼却熱有効利用実証試験
環境省「令和6年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」
(廃棄物処理施設を核とした地域循環共生圏構築促進事業)
・代表事業者 (幹事) : 横浜市
・代表事業者 : 東亜合成 (株)

事業効果 : 二酸化炭素排出削減量 **2,400 トン/年 (見込み)**
総事業費 : 約835百万円 (横浜市工事負担 + 東亜合成工事負担)
事業期間 : 12年間

鶴見区末広地区で隣接する2つの事業所



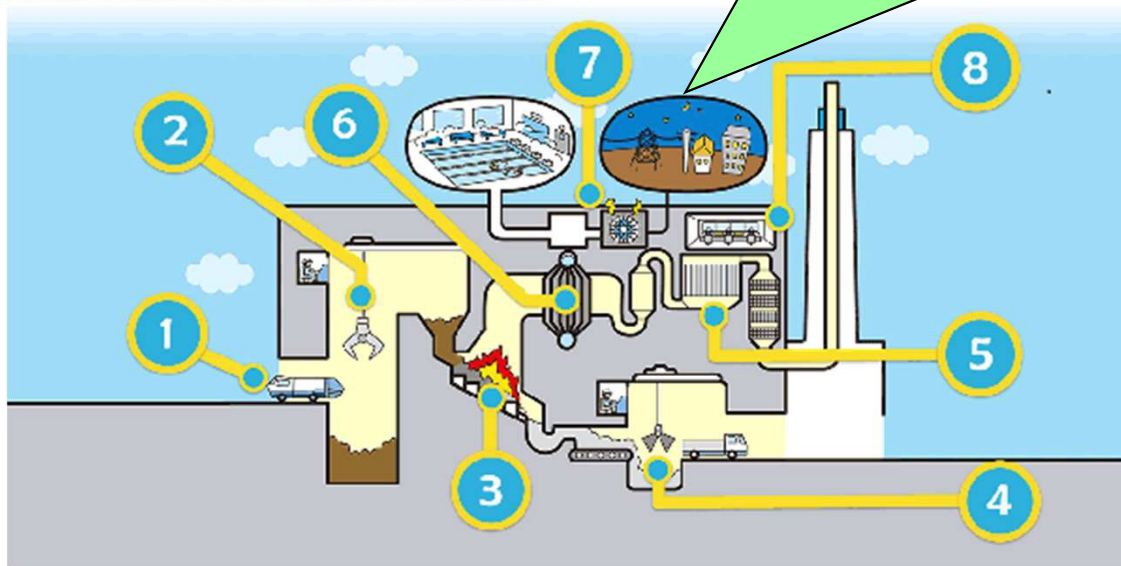
ごみ焼却工場（横浜市資源循環局 鶴見工場）の概要

東亜合成株式会社



ごみ処理能力 1,200 トン/日 (400 トン/日×3基)
ボイラー能力 70.36 トン/時 × 3基 (2.55 MPa)
発電能力 22,000 kW

発電電力は所内及び隣接する水再生センターで消費し、
余剰電力を非化石電力として売却



1. 投入ステージ
2. ごみピット、ごみクレーン
3. 焼却炉
4. 灰ピット、灰クレーン
5. 排ガス処理設備
6. ボイラー
7. 蒸気タービン発電機
8. 中央管制室

東亜合成（株） 横浜工場の概要

* 横浜工場の主な事業

1. 基幹化学品事業

カセイソーダ、次亜塩素酸ソーダ、塩素、水素、合成塩酸
塩化第二鉄、易溶性酸化銅 ほか

2. 高機能無機材料事業

高純度液化塩化水素、高純度塩酸

* 工場敷地面積

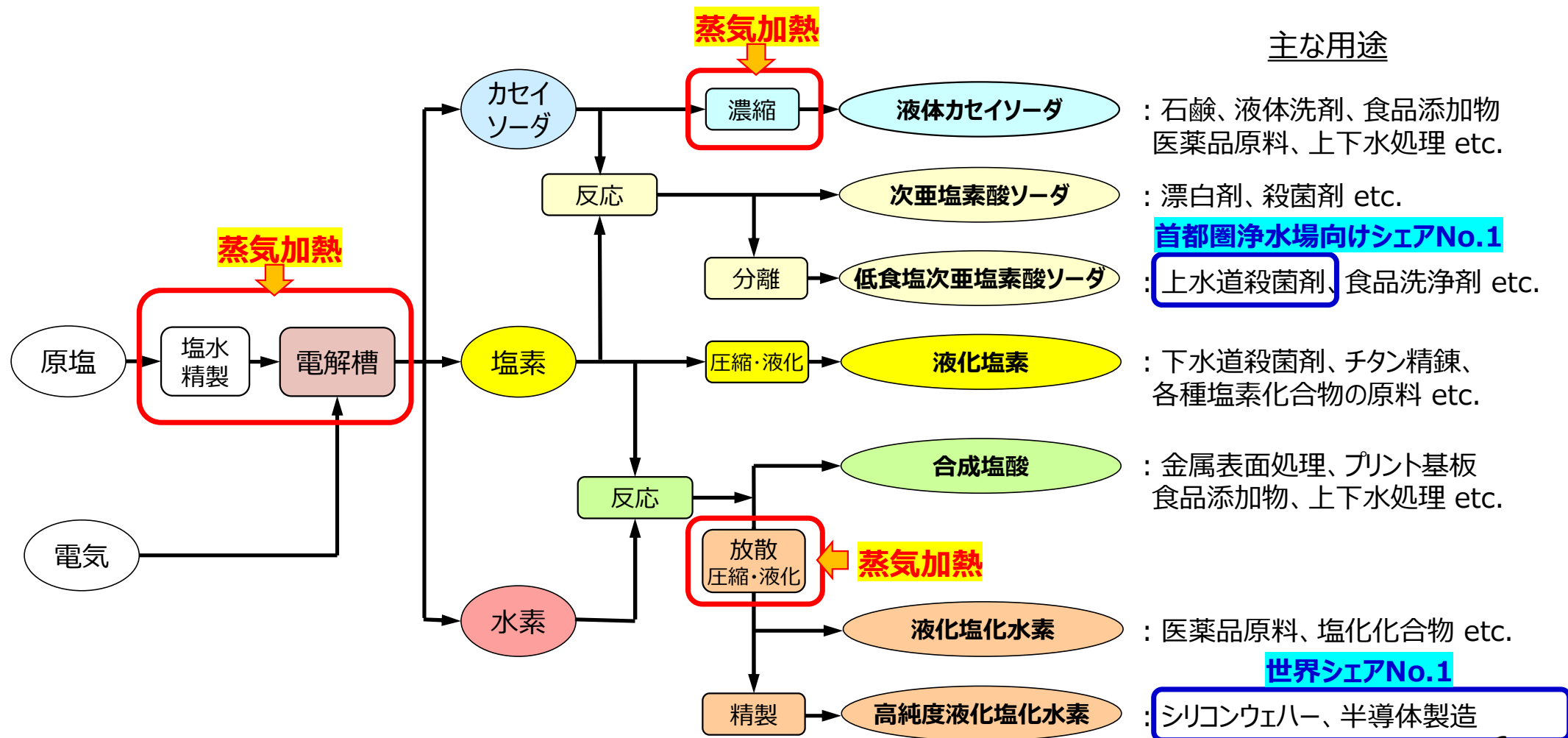
約97,000m²

* 建坪面積

約19,000m²



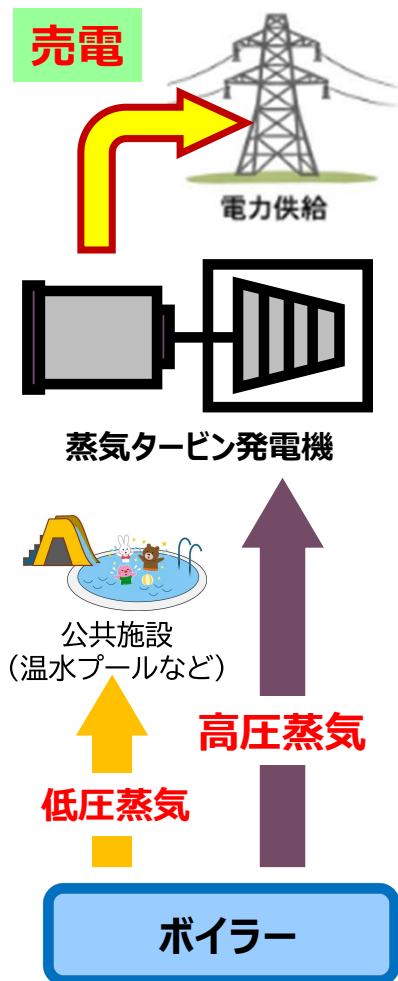
横浜工場の主要製造品目と製造フロー



隣接する2つの事業場の対照的な特徴

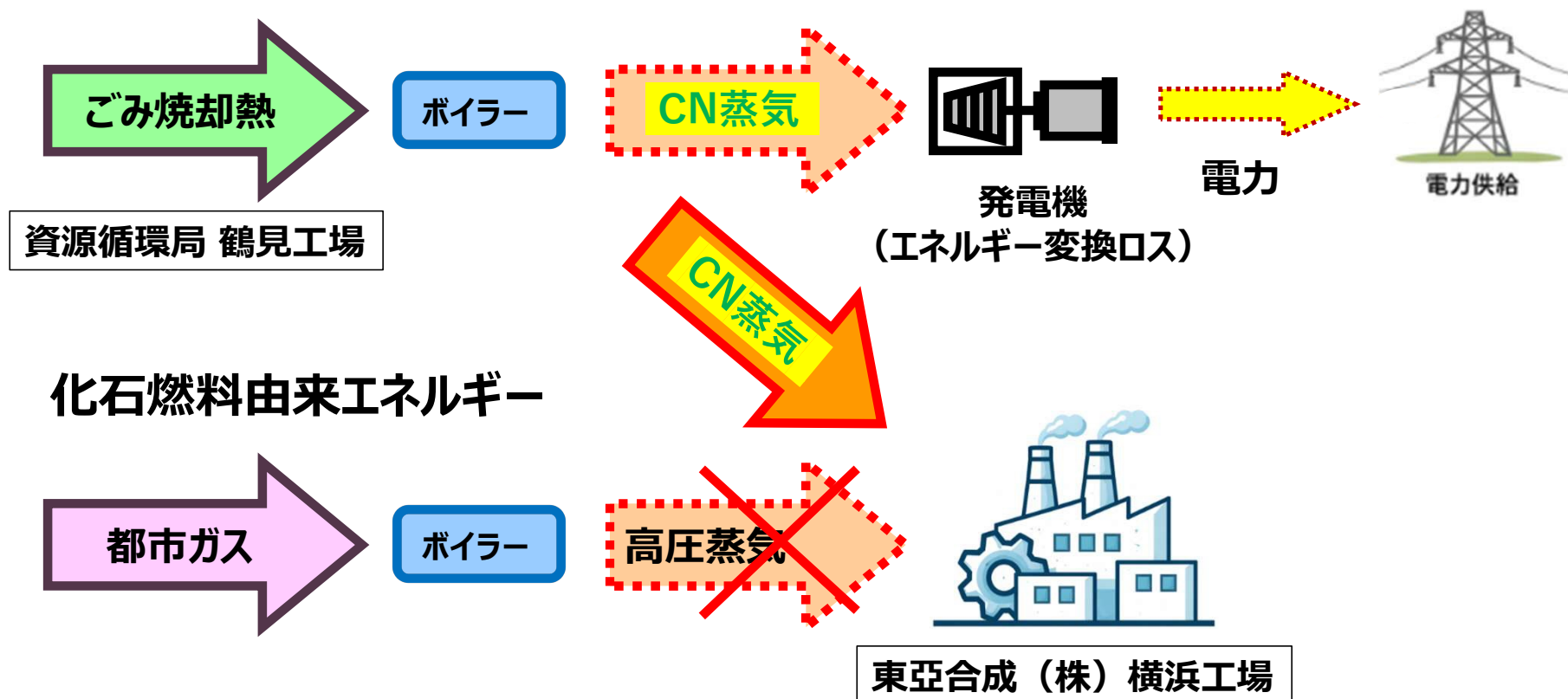
横浜市 資源循環局 鶴見工場

東亜合成（株）横浜工場



化石燃料からCN蒸気への転換イメージ

非化石燃料由来のクリーンエネルギー（カーボンニュートラル（CN）蒸気）



事業全体のCO₂削減効果

ごみ焼却工場 で発生する蒸気は**化石燃料**を使わないクリーンエネルギーの
カーボンニュートラル（CN）蒸気



40,000 トン/年以上 の **CN蒸気** を受入れ



東亜合成（株）横浜工場

鶴見工場：CN蒸気供給量 40,000 トン/年 = 2,800 トン-CO₂
の削減効果減少

東亜合成：CN蒸気受入量 40,000 トン/年 = 5,200 トン-CO₂削減

事業全体のCO₂削減効果 = 2,400 トン-CO₂/年

事業全体のコストメリットを両者で折半することで、単一事業所でのCO₂削減効果
でなく、地域全体としてCO₂削減効果を発現する事業として実現

CN蒸気の供給経路



以上です
ご清聴ありがとうございました